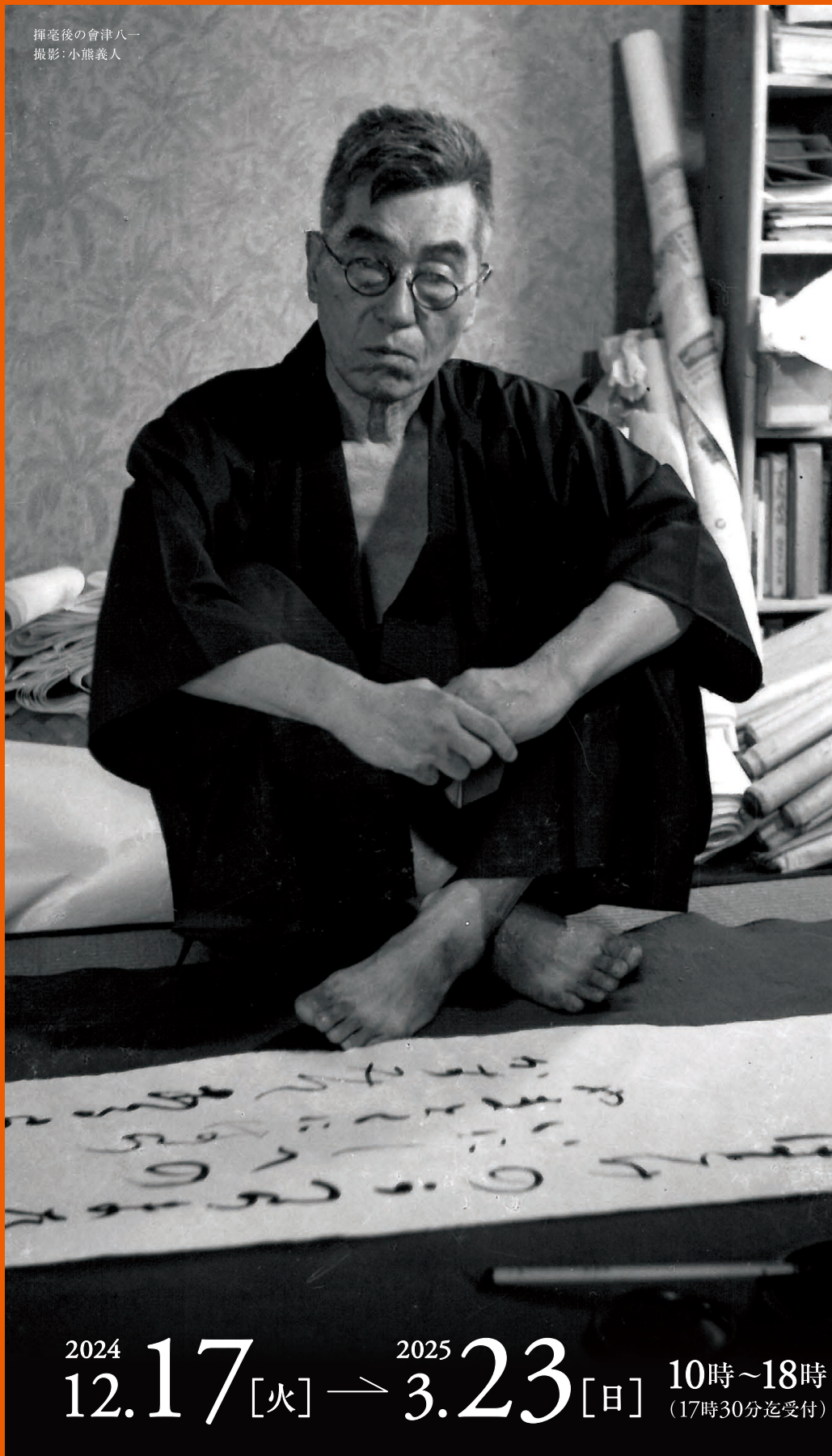


揮毫後の會津八一
撮影：小熊義人

新潟市會津八一記念館 2024年度 冬季企画展



八一を知る、 八一がわかる

独往の書の秘密

同時
開催



2024 12.17 [火] → 2025 3.23 [日] 10時~18時
(17時30分迄受付)

〔会場〕 新潟市會津八一記念館

〔休館日〕 月曜日(ただし祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日~1月3日)

〔入館料〕 一般500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円

※団体20名様以上2割引、土日祝休日は小・中学生無料

〔主催〕 新潟市會津八一記念館 〔共催〕 新潟日報社 〔後援〕 BSN新潟放送 〔協力企業〕 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

〔第18回〕會津八一の歌を映す
秋艸道人賞・写真コンテスト
入賞入選作品展
(第18回秋艸道人賞受賞作品)
江部 堅市氏(新潟県南魚沼市)
「天地にわれひとりゐて立(た)ちまき
このさびしさを君はほほ笑む」



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5F

Tel. 025-282-7612 (10:00~18:00)



入館割引券
・本券持参で2名様まで
2割引きいたします
●他の割引との併用不可
2025.3.23まで有効

八一を知る、八一がわかる 独往の書の秘密

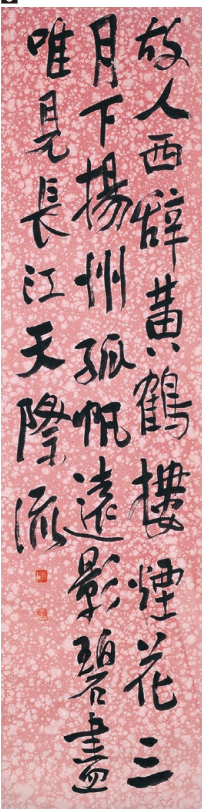
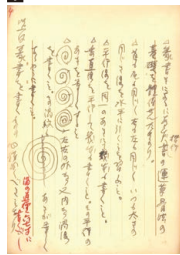
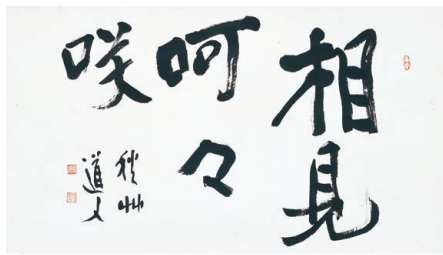
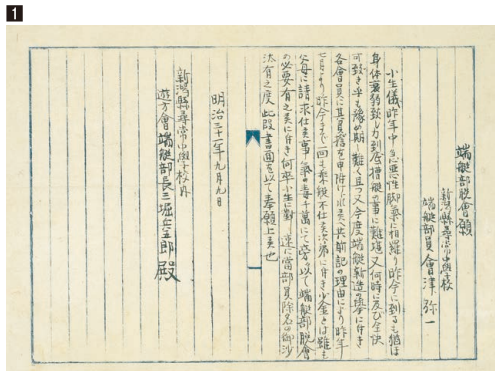
會津八一（1881～1956）を初めて知る人に向けた入門編「八一を知る、八一がわかる」シリーズ第4弾。今回は、八一芸術の要となる「書」をテーマに企画します。

八一はもともと左利きだったため、利き腕でない右手で文字を書くことが苦手でした。そこで八一は誰もが目にし、しかも文字の構造が平明な新聞の明朝体活字をよりどころとしました。さらには縦線、横線、渦巻き線を書く独自の習練法を積み上げていきます。一方では、中国や日本の書の古典を幅広く研究し、それ

ぞれが醸し出す書の美しさを会得しながら、誰にも頼らず自らの書を形作りました。その結果、八一は独往の書人として大成したのです。

展覧会では、八一の17歳の筆跡から75歳のときの絶筆に至るまでの作風の変化を、八一の生涯とともに紹介いたします。また、今回、八一が書の学び方を解説した原稿を初めて公開いたします。それらを通じて八一の独往の書の秘密に迫ります。

同時開催として第18回會津八一の歌を映す秋艸道人賞写真コンテスト入賞入選作品展も開催します。



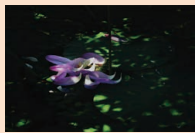
- 1 會津八一筆「端艇部脱會願」(17歳、当館蔵)
- 2 會津八一筆「門額(雙柿舎複製)」(17歳、当館蔵)
- 3 會津八一「李白詩十二幅」より「故人西辞黃鶴樓」(62歳、当館蔵)
- 4 會津八一「相見呵々々」(75歳、当館蔵)
- 5 會津八一筆「巖山碑學習習要領」一部(初公開資料、当館蔵)

EVENT INFORMATION 関連イベント

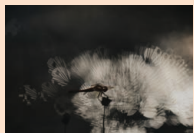
- 1 文芸講演会** 事前申込制
「自分の言葉を書く」
 — 會津八一と高村光太郎 —
 講師 | 住川英明氏 (岐阜女子大学教授)
 日時 | 2025年3月2日(日) 14:00～15:30
 会場 | 日報ホール (新潟日報メディアシップ2階)
 聴講料 | 500円(入館料込み) 定員 | 120名
- 2 篆刻体験講座** 事前申込制
「方寸の世界にふれる」
 講師 | 佐藤雄司氏 (新潟県立新潟向陽高校教諭)
 小川貴史氏 (新潟県立新潟東高校教諭)
 日時 | 2025年3月8日(土) 10:00～16:00(予定)
 会場 | ナレッジルーム (新潟日報メディアシップ6階)
 参加料 | 2,000円(入館料込み) 定員 | 25名
- 3 野中吟雪 館長による 解説会**
 日時 | 2025年2月16日(日) 14:00～ 約50分
 会場 | 当館展示室 (申込不要/要当日観覧券)
- 4 学芸員による 作品解説会**
 日時 | 会期中の第2・4日曜日 12/22(日)、1/12(日)、1/26(日) 2/9(日)、2/23(日祝) 3/9(日)、3/23(日) 11:00～ 約50分
 会場 | 当館展示室 (申込不要/要当日観覧券)

5 「會津八一の歌を映す」第18回 秋艸道人賞 写真コンテスト入賞入選表彰式・公開講評 事前申込制

[日時] 2025年2月9日(日) 午後2時～4時(予定) [講評] 浅井慎平氏(写真家)、村尾誠一氏(東京外国語大学名誉教授)、若松保広氏(仏像写真家)を予定
 [会場] 新潟グランドホテル (〒951-8052 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地) [定員] 80名 [聴講料] 無料 ※事前申し込みが必要です



〈新潟市長賞〉
「溝川の」
二瓶純緒氏
(新潟市江南区)



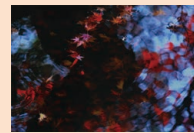
〈胎内市長賞〉
「近づきて」
藤井則子氏
(新潟市西蒲区)



〈新潟日报社賞〉
「みどらしの」
山口晴久氏
(大阪府池田市)



〈BSN賞〉
「近づきて」
風間基和氏
(新潟市西区)



〈八栗寺わたつみ賞〉
「我妹子を」
山口ようこ氏
(新潟市西区)



〈審査員特別賞〉
「すべもなく」
羽田寿弘氏
(新潟県胎内市)

お申し込み方法

※イベント1と2と5の聴講をご希望される方は、専用申込フォームから往復はがきのいずれかでお申し込みください。往復はがきの場合、参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、會津八一記念館までお送りください(ただし1通につき1イベント、1名様までのご応募といたします)。定員に達し次第締め切ります。



専用申込フォームはこちら
開催日の2日前迄にお申し込みください

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。

- 12月17日～2月2日: 木下慶香先生(新潟県書道協会参事、新潟市)
- 2月4日～3月23日: 渡邊春虹先生(新潟県書道協会参事、新潟市)



〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
 TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614 / MAIL: info@aizuyaichi.or.jp
 当館へはメディアシップのエレベーターをご利用ください。(階段はございません)
 ◎交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分
 ◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)
 ※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

